

# 共に生きる

東日本大震災現地支援ニュース No.9

2012年7月25日 大会執事活動委員会

## \* のぞみセンター 活動報告

仙台カナン教会 大野雅良

報告出来ず幸いを感謝し、主を讃美します。

これまでに頂きました多くの皆様のお祈りとご支援に御礼を申し上げます。現在、のぞみセンターの活動は三つに分かれております。

### 1. 内外ボランティアの受入れ施設

5月5日の開所式以降、北米のOPC, CRCから毎月30~40人規模でボランティア・チームが来ています。当地での奉仕内容は地域住民の要望による畑のガレキ処理、被災家屋の片付け、田植え、ビニールハウス内の片付けや整地、石巻地区での奉仕、東松島でサクラハウスとの協働等と様々です。そうした奉仕活動においてスタッフは運転手、通訳、作業指導と一人何役もこなしています。

### 2. 地域住民への支援

センターのある地域の住宅は全て津波の被害を受けており、周囲には未だに空き家が点在しています。現在、仮設住宅に入居している住民の方達も徐々に住宅の修復工事を終えて自宅に戻る方が増え、その方達とセンターとの交流が始まりました。そして、その方達を通してセンターの存在や活動内容が口コミで広まり、訪問者が日々増えているのを感じています。

### 3. 仮設住宅の方達との交流

昨年以來、名古屋岩の上传道所が行っているディアコニア活動の一部を引き継ぐ形で交流を続けています。また、仮設のご婦人達が作られたアクリルスポンジを北米からのボランティア・チームに託し、帰国後、各教会で報告の際にこれらアクリルスポンジの購入支援を1個2ドルでお願いし、既に100個以上の注文を頂いております。これもOPC, CRCとの協力体制があってこそその結果であり本当に感謝です。

以上が現在ののぞみセンターが行っている活動内容です。

尚、子供向け図書に関して大きな反響があり、全国から多くの献品を頂戴しました。お陰様で全ての本棚を一杯にする事が出来ました。これまでのご協力に感謝しまして図書の募集を締め切らせて頂きます。有難うございました。



### 生まれる活力、続く課題

仮設ではご婦人達が集まって一生懸命アクリルスポンジを編んでくれています。「私たちにも復興のために何かできることがあるなら!」と、その意気込みには本当に励まされます。中には夜なべをして作業に没頭される方も。けれどもその裏には夜独りでいるのが怖いという思いや、中々寝付けないという理由があるのも現状。スポンジの販売も始まり、寄せられる反響がまたご婦人達の活力になっています。



### キリストのからだ

このぞみセンターには、アメリカ・カナダ各地からミッションチームが来て下さっています。地域の方の依頼に応じて民家や畑、又、NPO 団体の **band⇔aid** さんにご紹介頂いた地元の農園に伺い、ビニールハウスの修復作業、草刈りや石取りガレキ掃除、まとめると「頼まれることは何でも喜んでするボランティア活動」を行っております。人種、国境、言語の違いを越え交流が生まれ、笑顔と互いへの感謝が溢れています。

### 子供の瞳、叩かれる心のドア

夏休みに入り、今までにも増して子供たちが集まって来ています。色んなスポーツやゲームをしながら学校や学年が違う子同士仲良く遊んで、いつも賑やかです。次第に心を開いてくれるようになり、震災時の話を自ら語ってくれる子や、賛美歌を好んで聴く子もいます。この子供たちの瞳に希望の光が宿りますように。



### 絆 -kizuna-

有り難いことに地域の方々からも温かいご支援を頂いております。寄り添うというのは、ときに周りの方からのご好意を受け取る。ということでもあるのです。お野菜や果物の差し入れをして下さる方、「おーい！元気でやってっかあ？」と様子を見に来て下さる方もいます。感謝です。

### スタッフ募集

主から思いを与えられたクリスチャンの仲間を募集しております！目の前には多くのニーズがあり、収穫も約束されていますので働き手が送られるようお祈り下さい。そして、もし語られるところがありましたら、どうか信仰を持って立ち上がって下さい！英語・日本語を話せる男性。運転のできる方。情報整理・ウェブサイト管理のお得意な方。営業・広告関係の経験が豊富な方。福祉・教育に思いのある方。主に心を吟味して頂いた後、是非ご一報下さい。

### お祈りのリクエスト

- ご年配の男性(ご家族やお仕事を失われお酒に依存する方、ふさぎ込んで引きこもってしまう方が増えています。) 障害者の方、おひとり暮らしの方(特別な支援や保険制度が断ち切られることのでかなりの金銭的、精神的負担がお一人お一人にかかって来ます。不安を覚え、絶望感から「後は死を待つだけ」と口にされる方もいらっしゃいます。)のために。
- のぞみセンターにスタッフが与えられるように - 心の慰め、癒し

### 児童図書・文庫本寄付への感謝

児童図書、文庫本、聖書、コミックの寄付、ありがとうございます。お蔭様でセンター内に図書コーナーを設けることができました。今のところ、このようなリクエストが子供や地域の方たちから挙がっています。引き続きご支援頂けると感謝です。長縄(縄跳び用) 色チョーク(道に絵を描く用) ゲートボール用具一式 将棋台と駒 絵の具と絵筆

### 今後のイベント

7月29日:ミニコンサート 7月30日:本田路津子さんコンサート 8月17日:仮設訪問(心のケア) 夏祭り(MIGIWAさんコンサート)その他、引き続きボランティア活動、アウトリーチを企画しております。

皆様の上に主の恵みと平安がありますように。心からの感謝を込めて。

のぞみセンタースタッフ一同

## \* 被災地からの近況報告

石巻伝道所宣教教師 白津景蔵

栄光在主。改革派教会大会に連なる皆様方にはいつも覚えて変わらぬ祈りと御支援を賜り心より深く感謝申し上げます。

さて、東日本大震災発生から約1年4ヶ月が過ぎた現在(7月24日)、当伝道所の会堂と牧師館の復旧工事は大変残念ながら未だ着手されておらず、被災した当時の混乱した状況の中での関係諸機関の対応の遅れ、情報不足、相互のコミュニケーション能力と努力の不足等が尾を引き今日に至っています。希望という僅かなこもればいでも欲しいという思いのうちにあって見通しが不透明で立たず、疲れはて悩み苦しみ祈らされる中で最近、久々に感謝な嬉しいひとつの朗報がもたらされました。それは OPC が専門のカーペンターを何名か石巻に派遣して会堂、牧師館の耐震改修、補強を中心とするリフォーム工事に9月末位から取り掛かって下さる見通しがようやくついたということであります。今般の地震と津波で最大の被害を被った地域に有りながらも、何とか辛うじて持ち堪え守り支えられたのは偏に全知全能の主なる神の御加護と同信の愛する兄弟姉妹の兄弟愛に基づくひたむきな真心のこもった執り成しの祈りの恵み以外の何ものでもありません。課題が山積している状態から何度でももう一度原点に立ち戻って再出発をきする決意です。リフォーム工事の完成は早くも本年11月末~12月(年内)を目指すという予定であります。建築(リフォーム)費用は大会の第2期募金と OPC の援助から各々支出される予定です。末筆ながら今後とも主にある皆様の心の祈りを引き続きお願い申し上げます。主の御前に衷心より感謝しつつ。

## \* 東仙台教会 活動報告

東仙台教会 立石 彰

皆様の祈りに支えられ活動を継続しています。心からの感謝を込めて活動を報告いたします。

### 【1. 小さな食事会、おはなカフェ】



内響での食事会(6/29)  
「温泉に行きたい！」と



ポップリ作り(7/4)  
楽しかった！



冷やし中華(7/18)  
熊田君の手作りのたれ



おはなカフェで  
私、唄いました・・・

### 【2. にじいろ楽習会】



東部中会執事会から  
バスケのゴールを！



中部の松本兄  
音読みを聴く



おままごと  
何を作ってる？



たくさんの  
くつ！！



体育館を借りて  
スポーツ大会！！

### 【3. 温泉ツアー、バーベキュー、ワーク】



7月24日~25日に仮設住宅の方々と  
鳴子(なるこ)温泉に行ってきました！



BBQ！(7/16)  
暑かった。。



津波で流された塀の代りに木の柵を作っています。

\*8/1~2の「中高生キャンプ」、8/21~23の「子どもキャンプ」のためにお祈りください！



## \* 6月18日・16回目の陸前高田訪問報告

仙台栄光伝道所 李根培

訪問者はチーム陸前高田8名全員、南浦和教会から大場康司教師・雅子姉、太田円三長老、吉野ふじ子執事の4名が初参加です。そして大会執事活動委員会の豊川修司教師と福井召一長老も参加です。加えて、陸前高田キリスト教会の森田先生も私たちに同行です。教会関係から、計15名の訪問となりました。



救援物資は2つの仮設の各家庭にキムチ1kg、南浦和教会からの夏物衣類です。今日の行事は金玉基先生による2つの仮設での韓国料理「チヂミ」の講習会です。

### 1、米崎佐野地区仮設、午前11時～午後2時、

この仮設の会長さんは菅原正治さんです。仮設からの参加者は10名です。明日が見えない仮設住宅の人々の生活です。一瞬にして全てを失い、この仮設に移り住みました。明日が見えない厚い壁にふさがれた生活の

日々の中、魂の叫びが聞こえる思いです。

祈り「主よ、この仮設に住む一人ひとりの魂の叫びに耳を傾けてください、住民のために心を砕いておられる菅原会長さんを助けてください。神様・あなたは昔、『エジプトに住むイスラエルの民の苦しみをつぶさに見、----彼らの叫び声を聞き、その痛みを知った』と、モーセに云われました。

(出エジプト記3：7) この仮設に住む民をもお願い申し上げます。」

### 2、片地家仮設住宅：午後3時から韓国料理講習会・チヂミ作り

この仮設からの参加者は合計15名となりました。この仮設で、5月末赤ちゃんが誕生しました。午前中の仮設と同様にチヂミを共に作り食べ、お土産に持ち帰って頂きました。

①この仮設の坂井勝さん、七福らーめん店開業-----私たち、そして豊川先生、福井長老を招待して下さいました。おいしい広東麺でした。

②前なか会長(菅野 寿)さんがクッキー作りを始める。「今、クッキー作りをしています。販売に意欲を傾けています」と。元気を取り戻し、明日へと一歩踏み出す片地家仮設住宅の坂井さん、菅野寿さんです。



### 3、南浦和教会の皆さん、午後4時に仙台へ

私たちの活動当初から、物資、献金、祈りをもって支えてくださっている教会です。

南浦和教会の皆さんと仮設の皆さんとが顔と顔を直接合わせることが出来ました。

仮設の方々の感謝の笑顔をお土産として、しっかりと脳裏に刻まれた瞬間です。

大場先生の車は4時に陸前高田を後にしました。

### 4、大会執事活動委員会のお2人のご挨拶

豊川修司先生と福井召一長老にご挨拶を頂きました。とりあえず、向こう一年間は経済的に支えて下さると云うご挨拶でした。私たちに大きな希望を与えて下さいました。

### 5、陸前高田キリスト教会の森田牧師、終日私たちに同行して下さいました。

私たちが仙台に着いたのは午後11時を過ぎておりました。

以上

2012年6月 チーム陸前高田・代表：李 根培

金 玉基、松田研二・美智子、佐々木和雄、加藤富美子、佐々木金光・京子

<今月の御言葉>

「兄弟としていつも愛し合いなさい。」 ヘブライ人への手紙13章1節

この箇所は口語訳では「兄弟愛を続けなさい。」と訳されていました。「いつも愛する」ということは、「愛し続ける」ということと一つです。一時的な愛ではなく、愛に留まり続けることが求められているのです。今月で第2期募金も終了しますが、私たちの教会の真実な兄弟愛が問われるのはこれからではないでしょうか。

(大会執事活動委員会 吉田 実)